

〔 横浜市市民文化会館関内ホール 〕
令和 7 年度業務計画及び収支予算
〔 かんないアート&メディアパートナーズ 〕

(株) t v k コミュニケーションズ・(株) テレビ神奈川・(株) 神奈川新聞社・
(株) 清光社・(公財) 横浜市芸術文化振興財団共同事業体

※ 文中の事業欄において、●：主催事業 ○：共催事業を示します。
※ 文中の達成指標欄において、□：定量的指標 ■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町 4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 5 階地下 2 階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51 m ²
開館日	1986 年（昭和 61 年）9 月 27 日

2 指定管理者

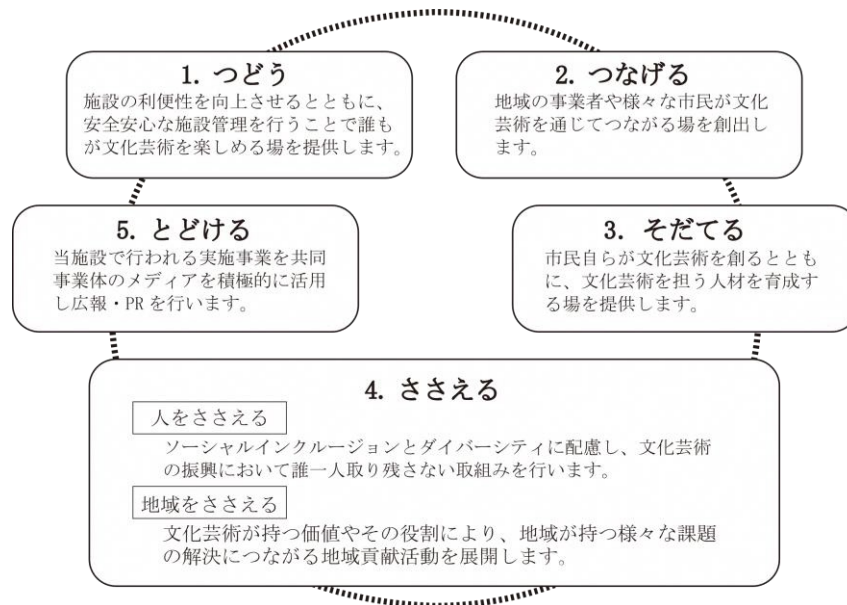
法人名	かんないアート&メディアパートナーズ (代表：株式会社 t v k コミュニケーションズ)
所在地	横浜市西区西平沼町 6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	熊谷典和
設立年月日	昭和 49 年 9 月 10 日
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和 4 年 4 月 1 日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、施設の特性や馬車道エリアという立地を活かし、施設のミッションである「文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場の提供」「文化・芸術の鑑賞の機会の提供」「次世代を担う人材の育成」「地域のにぎわいの創出」等を実現するため、3 期 15 年間の運営経験と 5 社共同事業体の持つ専門性を活かし、下記に示す 5 つのコンセプトと 6 つの使命に対する基本方針で関内ホールの管理運営に取り組めます。

◆ 5 つのコンセプト



◆6つの使命と基本方針

1. 【使命1】文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ①各種法令、条例、規則などを遵守し、あらゆる市民が利用し易い環境づくりを行います。
- ②施設利用者に対し、全職員のきめ細かな接遇やワンストップサービス（生花、弁当、機材等の手配）を実施することで発表、集会等、様々な文化的活動を支援します。
- ④利用者に対する定期的なアンケートやヒアリングを行うとともに、苦情があった際は対応フローに基づいた適切な対応を行った上で、今後の改善策を検討します。

2. 【使命2】文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ①地域の文化振興のニーズに応えるとともに、新たな文化芸術にも着目し、市民のための文化施設としてこれまでの文化芸術の継承と更なる拡がりのある鑑賞事業を実施します。
- ②市民参加型のシンボリックな事業への参加、体験型事業やアウトリーチ事業の積極的な実施により、市民の文化芸術についての意識を醸成します。
- ③ソーシャルインクルージョンに配慮し、障がいの有無に関わらず、一人でも多くの方に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

3. 【使命3】次世代を担う人材を育む

- ①乳幼児対象や幼児から学童対象、小中学生等、子どもの成長段階や興味に合わせて、文化芸術に触れる多彩な機会を提供することで未来のアーティストの芽を育てます。
- ②若手ジャズミュージシャンの発掘や育成に向けてのステップアップ方式の演奏機会を提供すること等により、新進アーティストが活動の機会を広げる支援を行います。
- ③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』に積極的に協力し、市民に向けた文化芸術活動に係る講座を開催することで、文化芸術活動の担い手の育成にも取り組みます。

4. 【使命4】地域のにぎわいを創出する

- ①地元の馬車道商店街などに対して、広報活動の支援や地域イベントへの協力、クーポンサービスなどの実施により、連携・協働して地域の賑わいづくりを推進します。
- ②当共同事業体の強みを活かした様々なプロモーション活動を実施するとともに、地域文化の継承の役割も担います。
- ③地元事業とのタイアップや様々な関連団体との連携を行うことで地域の賑わいを創出するとともに、新たな地域貢献にも取り組みます。

5. 【使命5】利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ①これまでの当施設の管理運営ノウハウを発揮し、日々の施設点検と早期の修繕実施による施設の長寿命化を実現します。
- ②様々な災害を予見した、マニュアルの作成や職員への訓練、利用者に対する安全の確保を行い、施設の安全安心な利用を第一に考えます。
- ③公演開催時には多くの方が利用される施設であるため、業務基準を上回る清掃を実施することで、施設の安全性と美観を保ちます。

6. 【使命6】新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

- ①新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館や利用者の制限があった際には、市と協議の上で速やかな対策を実施するとともに、制限が解除された際にすぐに安全が確保できる体制を整えます。
- ②感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下、安全安心な自主事業を開催するとともに、無観客ライブ配信や有観客とライブ配信を組み合わせる等、状況に応じた事業を実施します。

(2) 令和7年度の業務の方針

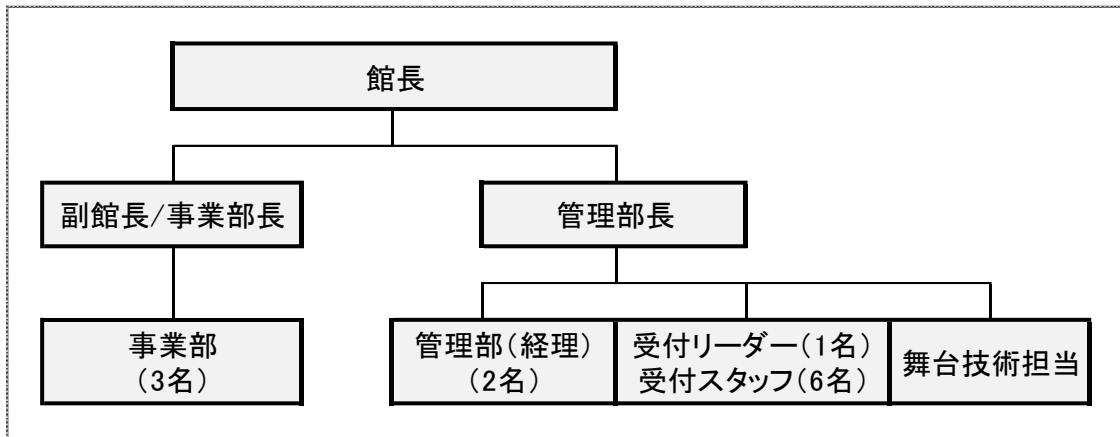
今年度4年目を迎える「かんないアート&メディアパートナーズ」指定管理業務について、提案書に掲げた「文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場の提供」「文化・芸術の鑑賞の機会の提供」「次世代を担う人材の育成」「地域のにぎわいの創出」等の実現に向けて、社会情勢の変化や感染症対策に柔軟に対応し、当事業体の強みを最大限に活かして推進していきます。

ワンストップサービスによる支援や利用者満足度向上につながるニーズの把握に努め、地域や団体との連携を強化し、利用率向上を図ります。

原油価格・物価高騰の影響においては、日常的に収支状況を把握し、文化・芸術の拠点として安全安心な市民文化会館の機能が果たせていけるよう、取り組んでまいります。

4 運営組織の構造、人員配置

◆組織図



- *互いに業務を補完しマルチジョブによる効率的で効果的な体制を構築します。
- *施設の管理にあたっては、専門分野の人材を適正に配置します。
- *高い意欲と実務経験を保有する職員が、各々の専門性を発揮し、市の施策や施設の役割等を十分に理解した上で業務を実施します。
- *専門スタッフにより、地域特性を熟知した事業企画や幅広い広報活動を実施します。

5 令和7年度の業務の取組

(1) 【使命1】文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ①市民が気軽に利用できるよう公平公正な利用機会を提供し、個人練習向け企画や発表会・講演会の動画配信サービスを引き続き整備します。
- ②市民参加型のワークショップと発表機会の提供をはじめ各種発表会や講演会など実施に必要な生花、お弁当、看板等の手配をワンストップで提供する“ステージコンシェルジュサービス”を継続し、利用者のサポートに努めます。
- ③利用者アンケートを実施し、満足度向上につながるニーズを把握し業務改善に努めます。

(2) 【使命2】文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ①年齢、性別、国籍、障害の有無に関わらず幅広く舞台芸術に触れる機会を創出するため、更なる拡がりを追求し、演劇やクラシック、海外のアーティストの招聘にも挑戦し、新たな来場者獲得に努めます。
- ②市民が気軽に体験できる創作ワークショップや発表の場やアウトリーチ・インリーチ事業を実施するとともに、各種団体と連携し、横浜の公的な文化芸術事業に協力します。
- ③ソーシャルインクルージョンに配慮し、障害者・外国人留学生・あらゆる子どもたちが文化芸術を鑑賞できる機会を創出します。
- ⑤収支リスクのある主催事業については、話題性・ジャンル・収支を総合的に判断し、リスク軽減を図るため、共催・協力事業の誘致を促進し、市民の鑑賞機会のさらなる拡大に努めます。

(3) 【使命3】次世代を担う人材を育む

- ①子供の成長に合った文化芸術に触れ、表現者としての意識向上を図る機会を創出します。
- ②新進アーティストの演奏機会の提供として、ストリートライブからのステップアップ型の育成事業を展開します。
- ③横浜出身の落語家（二つ目）の寄席を定期的で開催し、次世代育成の取り組みとして、市民が気軽に落語に触れる機会を創出します。
- ④横浜市文化芸術プラットフォーム「学校プログラム」のコーディネーターとして協力します。
- ⑤文化芸術活動の担い手を育成する「市民向け講座」や「ピアノ練習プラン」に取り組みます。

(4) 【使命4】地域のにぎわいを創出する

- ①地元の馬車道商店街等と連携したイベント運営に協力し、商店街店舗のクーポンサービスなどを充実させ、協働して地域の賑わいづくりを推進します。
- ②当共同事業体の強みを活かした各種プロモーションを実施し、地域文化の継承の役割を担います。
- ③地元の事業や各種団体と連携し、地域の賑わいを創出するとともに、新たな団体や学校などとの関係を築き地域貢献に取り組めます。

(5) 【使命5】利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ①安心してご利用いただくため、定期的な施設点検と備品管理を適切に行い、必要に応じた早期修繕による施設の長寿命化を目指します。
- ②事故防止や防犯対策として、警備員の巡回や警察・消防との連携を強化し、危機管理マニュアルや訓練を通して緊急対応ができるよう意識向上に努め、施設の安全安心な環境を提供します。
- ③定期清掃だけでなく特別清掃で美観を保つとともに、空調管理やアルコール消毒を継続し、衛生的に施設を管理します。

(6) 【使命6】感染症の対策に配慮した施設運営を継続する

- ①社会情勢の変化に対応し、安全安心な施設運営を行います。
- ②コロナ禍の感染症対策の経験を活かし、緊急時には市と協議のうえ各種感染症のリスク軽減を図ります。

■今年度の実施予定事業

(1) 【使命1】文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

各種割引優遇制度やマイ練習プラン、ステージコンシェルジュ等の利用者サービスや動画配信システムの提供を継続することで更なる利用率の向上に努めます。

利用者から要望が多い大・小ホールの利用時間延長への対応や、公演チケットの委託販売業務等についても引き続き実施していきます。

また、予約システムのキャッシュレス対応等の課題について、スムーズに利用者サービスが提供できるようマニュアルを熟知し、職員一丸となって取り組みます。

(2) 【使命2】文化芸術の鑑賞機会を提供する

① 鑑賞型事業

市民に喜ばれる鑑賞事業を提供するためネットワークを活かし、横浜ゆかりの方々や海外アーティスト等多様なジャンルに挑戦し、主催・共催・協力事業を含め60公演以上の多彩で質の高い鑑賞機会を提供します。

- ・音楽：ポップス・クラシック・和楽器等
- ・ダンス：バレエ・ヒップホップ等
- ・演劇：劇団・市民劇団・学生・こどもミュージカル等
- ・伝統芸能：寄席・狂言等

② 体験型事業

市民参加の創作ワークショップや来場者の歌唱機会の提供、リハーサル室利用者の参加型体験や舞台発表の機会を創出します。

- ・市民参加型：「ゴスペルワークショップ・修了コンサート」「横浜市民ミュージカル」
- ・来場者参加型：「陽だまりコンサート」来場者歌唱に加え小学生の参加など世代を超えた交流
- ・利用者参加型：「ピアノマイ練習プラン」・リハーサル室利用者の舞台発表
- ・留学生参加：「関内寄席こころの4人」留学生の日本文化体験

③ アウトリーチ・インリーチ事業

定期的で開催している「陽だまりコンサート」の動画配信サービスをさらに充実させ、高齢者などがコンサートを楽しめるよう関係者と連携して出張コンサート等の開催を目指します。

- ・アウトリーチ・インリーチ事業：「陽だまりコンサート」の鑑賞機会

④ ヨコハマが誇る文化芸術

今まで協力してきた「横濱ジャズプロムナード」「ヨコハマ映画祭」等横浜市で開催するイベントとの連携や横浜ゆかりの方々の協力を得て、市民の関心を高める鑑賞機会を増やします。

- ・演劇・コンサート：横浜ゆかりの女優やピアニストの協力を得て開催

⑤ ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞機会の提供

誰でも気軽に参加できるホールとして、国籍や障害の有無に関わらず鑑賞機会を増やすため、外国人留学生や生活支援の必要な家庭の経済的な負担を軽減させ、参加促進を図ります。また、吉野町市民プラザ・岩間市民プラザと連携して、共創型事業も継続していきます。

- ・各種割引：障害者割引やキャッシュバックなどにより経済的な負担の軽減
- ・共創型事業：障害の有無を問わず参加できる「インクルーシブダンス」等

(3) 【使命3】次世代を担う人材を育む

① 次世代育成

子どものうちから多様な文化芸術に触れる機会を提供し、文化芸術創造都市の未来の担い手育成の取り組みを支援します。地元や企業を巻き込み、横浜出身の若手の落語家による寄席を定期的に催し、市民には地元の噺家を通じて古典芸能を身近に感じてもらえる機会を提供します。

また、神奈川ギター協会の協力を得て、新人オーディション入賞の小・中学生の演奏の場を提供します。

- ・子ども鑑賞型 : 「よちよちひなたぼっこコンサート」
- ・子ども参加型 : 「関内ホールオープンデー」「こどもミュージカル」
- ・若手支援 : 関内寄席「ここらの4人」「オーディション入賞の小・中学生演奏会」

② 新進アーティスト支援事業

玄関前ステージでのストリートライブや若手演奏家にホールでの演奏機会を提供し、ネクストステージへのステップアップに繋がる支援をします。

- ・若手育成支援 : 新進アーティストのストリートライブの開催、ホールでの演奏会の開催。

③ 芸術文化教育プラットフォーム

アーティスト派遣をコーディネートし、子どもたちに質の高い鑑賞機会を提供します。

- ・コーディネート事業 : 「学校教育プログラム」 2校以上

④ 文化芸術活動の担い手育成

プロ講師による講座やピアノ練習の機会を提供し、文化芸術活動の担い手を育成します。

- ・市民講座 : 「写真講座」「ライター講座」「映像講座」
- ・育成事業 : 「ピアノマイ練習プラン」

(4) 【使命4】地域のにぎわいを創出する

地元の「馬車道商店街」「関内まちづくり振興会」や町内会・大学・企業・団体と連携し、イベント運営の協力や共同事業体の強みを活かしたプロモーション、フリーペーパー・SNS等を駆使して地域のにぎわい創出の中心的な役割を果たします。

地域活性化の取り組みとして商店街店舗のチケットクーポンサービスを充実させ、関内ホール来場者と地域の関係をさらに強化し、地域のにぎわいを創出します。

- ・プロモーション : 神奈川新聞・tvkの広報・チラシ・SNS・館内ビジョン・アーカイブ
- ・各種イベント : 馬車道「あいすくりーむ発祥イベント」「アートフェスタ」「オープンデー」
東京ガス「ガス点灯式」、東京ガス・大学連携「カケル@コンサート」
「関内まつり」「セントラルタウンフェスティバル」「横濱 JAZZ PROMENADE」

(5) 【使命5】利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

① 施設運営

利用者満足度が高いサービスが提供できるよう、技術面・接遇マナー・防災意識の向上を図るため、研修・訓練を充実させ、緊急時でもスムーズな運営ができるようスキルアップを図ります。

利用者の意見を基に業務改善のPDCAを回す会議やビジネスチャット「Slack」を活用した情報共有を徹底し、利用者目線に立った業務改善に取り組みます。

② 施設管理

ホールの設備機器類及び内装類を良好な状態で機能を維持管理するとともに、計画的・突発的な修繕を想定し、点検作業等も行っています。また、日常的な保安警備業務や日常清掃を徹底し、常に安全で快適な環境を関内ホール利用者、付属店舗、青少年育成センターに提供できるように安全安心な施設管理業務に努め施設の長寿命化に寄与します。

引き続き、アルコール消毒や空調管理、換気等の各種感染症対策を実施していきます。

(6) その他

① 収支管理

指定管理料のみに依存しない収入構造や経費削減などの効率的な運営を行うために、様々な努力や工夫による収入の増加と費用の減少を図ります。

収入面においては、各種サービスや割引優遇制度を継続し、マイ練習プラン等の実施により利用率向上に取り組むことでの利用料収入の増加に努めます。また、魅力的な自主事業を企画し、来場者アップのための広報、PR活動に積極的に取り組み事業収入の増加に努めます。

一方、費用面においては、適正人員の配置と業務の平準化、可視化、効率化による人件費削減や事業実施時における舞台技術の内製化による事業費削減、建物や設備における予防保全の徹底、経験則に基づき空調管理で電気ガス使用量の削減に努めることで全体的な運営費減少を図ります。

また、質の高い事業企画による企業協賛や助成金の取得にも引き続き積極的に取り組みます。

② 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

事務所、警備、設備、清掃、舞台等のセクションごとに作成した管理日報をサーバーで一元管理し、報告事項については管理月報としてとりまとめ、月次のモニタリング会議において横浜市へ報告します。

業務計画書ならびに業務報告書・業務評価表については、年度ごとに横浜市へ提出し、前年の評価と改善点を共有します。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	貸館利用率							
	大ホール	92.4%	94.1%	95.7%	—	—	95.0%	—
	小ホール	79.3%	83.7%	89.1%	—	—	86.2%	—
2	総来場者数	208,093人	280,000人	237,171人	—	—	310,000人	—
3 ★	リハーサル室利用者による文化発表会の実施	年1回	年1回	年1回	—	—	年1回	—
4 ★	業務改善のためのPDCAサイクルとして定期的に責任者会議を実施	2カ月に1回	月1回	月1回	—	—	月1回	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 5 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 5 実績	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ・貸館利用率アップのための割引優遇制度・「マイ練習プラン」・発表会等の生中継動画配信等
- ・ワークショップやリハーサル室利用者の舞台発表に必要なステージコンシェルジュサービス
- ・PDCA サイクルの運用と業務改善

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数	7ジャンル 76回 32,211人	7ジャンル 44回 29,000人	7ジャンル 90回 52,453人	—	—	7ジャンル 44回 35,500人	—
2	体験型事業の事業数及び実施回数	4事業 5回	6事業 17回	5事業 8回	—	—	6事業 17回	—
3	アウトリーチ事業の実施回数	0回	年2回	0回	—	—	年2回	—
4	来場者（参加者）満足度（アンケート集計）	86.1%	事業アンケートで「満足」以上の回答 85%	87.0%	—	—	事業アンケートで「満足」以上の回答 90%	—
★	★ ソーシャルインクルージョンに配慮した事業の実施数	3事業	6事業	4事業	—	—	8事業	—
★	★ 公的な文化芸術事業へ協力を行った数	6事業	5事業	8事業	—	—	5事業	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4 実績	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行った
		R 5 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 5 実績	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行った
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取組む事項

- ・鑑賞型・体験型事業・アウトリーチ・インリーチ事業の充実
- ・主催事業のアンケート調査において85%以上の「満足度」確保
- ・障害者支援施設や社会福祉協議会との連携強化によるソーシャルインクルージョンの取組み
- ・「横濱ジャズプロムナード」「ヨコハマ映画祭」等公的な事業の協力

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	子どもをターゲットとした事業数	16 事業	10 事業	12 事業	—	—	10 事業	—
2	★ 玄関前ステージでの公募型ストリートライブ定期開催数	2回	10回	10回	—	—	10回	—
3	★ 新進アーティスト支援を目的とした事業数	10 事業	5 事業	14 事業	—	—	5 事業	—
4	★ 学校プログラムへの協力	3校	2校	3校	—	—	2校	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行った
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 5 実績	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行った
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 8 実績	—
2	新たに参加した人の属性分析	R 4 実績	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活用した
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 5 実績	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活用した
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- ・子ども向け事業：コンサートや演劇等 10 事業を目標に実施
- ・玄関前ステージでのストリートライブ：10 回を目標に実施
- ・新進アーティスト支援事業：音楽やダンス等 5 事業を目標に実施
- ・学校プログラム：市内の小学校 2 校以上を担当
- ・参加者や学校関係者を対象とした事業アンケートの定性・属性分析をもとに企画立案

(4) 使命4 地域のにぎわいを創出する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	18 事業	10 事業	24 事業	—	—	10 事業	—
2	デジタルアーカイブ（関内ホ	10 本	10 本	10 本	—	—	10 本	—

★	ール動画コレクション) に地域イベント等の新規タイトルを追加	追加	追加	追加			追加	
3 ★	馬車道商店街とのヒアリングを実施	毎月 1回	毎月 1回	毎月 1回	—	—	毎月 1回	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携した ことによる 地域の 定性分析	R 4 実績	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行った
		R 5 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 5 実績	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行った
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

- ・地域の施設・団体等との連携事業とサポート：10事業を目標に実施
- ・デジタルアーカイブ：関内ホール動画コレクションに10本を目標に実施
- ・地域の関連団体との連携強化：馬車道・関内まちづくり振興会等と日常的な意見交換
- ・当共同事業体関連施設との連携強化：吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携事業の実施
ボッシュホールとの連携事業の実施（令和7年4月開館）

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	0件	0件	0件	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施	100%	100%	100%	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	93%	90%	100%	—	—	90%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行った
		R 5 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う
		R 5 実績	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行った
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う
		R 8 実績	—
2	管理運営費推移の要因分析	R 4 実績	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った
		R 5 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う
		R 5 実績	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行った
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う
		R 8 実績	—
3 ★	中期修繕計画の策定と見直し	R 4 実績	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定した
		R 5 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する
		R 5 実績	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定した
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ・施設管理瑕疵に起因する事故発生件数0の達成
- ・安全安心な施設の運営管理：法定点検の実施と安全管理のための突発的修繕の検討
- ・快適な施設運営：空調・換気・清掃・警備・誘導サイン・緊急時対応
- ・PDCAサイクルに基づく運営：実行に向けた具体的な計画と見直し
 - P：年間作業計画表の作成と維持管理マニュアルの作成
 - D：作業計画に沿った適切な業務と日常巡回点検の実施
 - C：責任者と技術員による多段階のチェック体制
 - A：年間作業計画表の作成及び見直し
- ・修繕計画の策定と見直し：施設の長寿命化に向けた修繕計画と優先順位の検討

令和7年度 「横浜市市民文化会館内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	146,753,000		146,753,000		146,753,000	横浜市より
利用料金収入	76,500,000		76,500,000		76,500,000	
自主事業収入	35,600,000		35,600,000		35,600,000	
雑入	29,040,000	0	29,040,000	0	29,040,000	
自動販売機手数料	1,750,000		1,750,000		1,750,000	
育成センター施設負担金	12,390,000		12,390,000		12,390,000	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	12,900,000		12,900,000		12,900,000	市に納付の附属店舗賃借料を含む
その他(チケット販売手数料等)	2,000,000		2,000,000		2,000,000	チケット販売手数料、物販手数料 他
収入合計	287,893,000	0	287,893,000	0	287,893,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	56,801,000	0	56,801,000	0	56,801,000	
給与・賞金	54,141,000		54,141,000		54,141,000	
社会保険料	960,000		960,000		960,000	
通勤手当	1,700,000		1,700,000		1,700,000	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	18,725,000	0	18,725,000	0	18,725,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	1,430,000		1,430,000		1,430,000	
会議贈い費	30,000		30,000		30,000	
印刷製本費	260,000		260,000		260,000	
通信費	1,650,000		1,650,000		1,650,000	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	10,887,000	0	10,887,000	0	10,887,000	
横浜市への支払分	10,887,000		10,887,000		10,887,000	公有財産貸付料10,630,000(附属店舗)、目的外使用料257,000(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0		0		0	
備品購入費	330,000		330,000		330,000	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	113,000		113,000		113,000	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	360,000		360,000		360,000	
リース料	1,791,000		1,791,000		1,791,000	無線機、コピー複合機、紙折機、パソコン、PC本体・保守、AED 他
手数料	924,000		924,000		924,000	窓口キャッシュレス36万見込む
地域協力費	810,000		810,000		810,000	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費 他
事業費	36,700,000	0	36,700,000	0	36,700,000	
自主事業費	36,700,000		36,700,000		36,700,000	広報費1,760,000
管理費	168,080,000	0	168,080,000	0	168,080,000	
光熱水費	41,341,000	0	41,341,000	0	41,341,000	
電気料金	30,460,000		30,460,000		30,460,000	
ガス料金	6,631,000		6,631,000		6,631,000	
水道料金	4,250,000		4,250,000		4,250,000	
清掃費	20,068,000		20,068,000		20,068,000	
修繕費	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
舞台管理技術委託費	49,016,000		49,016,000		49,016,000	
機械警備費	1,040,000		1,040,000		1,040,000	
設備保全費	52,615,000	0	52,615,000	0	52,615,000	
空調衛生設備保守	13,754,000		13,754,000		13,754,000	
消防設備保守	4,754,000		4,754,000		4,754,000	
電気設備保守	11,991,000		11,991,000		11,991,000	
害虫駆除清掃保守	810,000		810,000		810,000	
駐車場設備保全費	165,000		165,000		165,000	
その他保全費	21,141,000		21,141,000		21,141,000	
共益費			0		0	
公租公課	5,724,000	0	5,724,000	0	5,724,000	
事業所税			0		0	
消費税	5,534,000		5,534,000		5,534,000	
印紙税	47,000		47,000		47,000	
その他(国税・地方税)	143,000		143,000		143,000	預金利息の国税・地方税、中区法人市民税均等割り額
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,863,000	0	1,863,000	0	1,863,000	
本部分	1,375,000		1,375,000		1,375,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	488,000		488,000		488,000	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処
二一ス対応費			0		0	
支出合計	287,893,000	0	287,893,000	0	287,893,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		

管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		